

## 目標系 原則2 自然と共生し、北の風土特性を尊重します

持続的な発展を支えるとともに、北の大都市としての特性を尊重し、内外にその魅力を発信していくことのできる都市空間をつくります。

### 背景・必要性

- 深刻化する地球環境問題への対応は、今日の都市づくりにおける重要課題の一つ
- ゆたかな自然に囲まれた札幌の都市個性をより高めていくことが必要
- 他に類を見ない多雪・寒冷の大都市として、風土特性を踏まえた独自の都市づくりを重視することが個性の発信につながる

### 原則の内容

#### 2-1 環境への負荷の低減

- 都市基盤の整備において、環境への配慮が徹底されていること
- 地下鉄駅周辺の居住密度が高まるなど、公共交通の利用しやすい都市構造が確立されていること

#### 2-2 市街地の外延的拡大の抑制と自然環境の保全・創出

- 市街地の外延的拡大の抑制を基調としつつ、市街地の内外で、守るべき自然環境が確実に守られるとともに、新たな創出が図られること

#### 2-3 市民が触れる機会の確保を通じた自然環境の保全

- ゆたかな自然が適切に都市住民に開放されることで、レクリエーション等の機会が提供されるとともに自然環境の保全に対する意識が高まること
- 都市住民自らの手による自然環境の管理のしくみなどにより、幅広く自然環境が保全されること

#### 2-4 多面的な自然環境への配慮

- 健全な水循環が確保されていること
- 野生生物の生育空間の確保にも配慮され、自然環境のネットワークが形成されていること

#### 2-5 冬期間の都市活動の維持と寒さや雪の活用

- 冬期間の道路交通の円滑化や歩行環境の向上が図られ、都市活動が維持されること
- ゆたかな屋内外の公共空間の形成や雪の冷熱エネルギーの活用など、寒さや積雪を資源としてとらえ、北の風土特性を生かす取り組みが進められること

#### 2-6 自然環境や風土特性に配慮した都市景観づくり

- 市街地内のみどりや水辺、地形的な特徴などが都市景観の中で生かされること
- 明瞭な四季の移り変わりによる背景の変化、市街地に残る歴史的遺構など、札幌の個性を表現する要素に配慮した景観づくりが進められること